

## 各地区業況アンケート結果（2021年11月調査分）

（2021年11月29日）

全国鉄鋼販売業連合会

日頃より当会へのご協力厚く御礼申し上げます。さて、11月26日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ78名の回答があり（回答率55.3%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。DI = (A×2+B×1-D×1-E×2) ÷ 総回答数×100、(数は回答実数)

### 1. 5割弱の企業が前年同月比数量増

問1】貴社の10月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	18	18	16	11	13	76	76
比率	24%	24%	21%	14%	17%	DI+22	DI+59
売上金額/前年同月比	32	16	15	6	9	78	77
比率	41%	20%	19%	8%	12%	DI+72	DI+113

### 2. 7割強が黒字

問2】貴社の10月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	36	20	19	3	0	78	78
比率	46%	26%	24%	4%	0%	DI+114	DI+109

### 3. 全般的にやや減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て11月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	6	32	11	4	54	-20	+2
民間建設向		14	30	14	5	63	-16	+10
自動車向		3	20	16	1	40	-38	-39
その他需要家向	1	12	39	8	1	61	+7	+24
仲間取引		3	39	18	2	62	-31	-10
計	2	38	160	67	13	280	-18	+1
比率	1%	13%	57%	24%	5%			

### 4. 冬場は横ばいから微減予想

問4】貴社における向う12月から2月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横這い	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	19	40	7	9	76	77
比率	1%	25%	53%	9%	12%	DI-5	DI+16

## 5. 鋼板類の需給多少緩むも、いまだ不足気味

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	品種別	A	B	C	D	E		11月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-7	-10	-7	3	-3	-15	0	-3	-14	-9	3	-10	-3	鉄筋用丸鋼		1	30	3		34	-6
-16	-10	-11	0	-4	-11	8	4	4	14	25	14	11	構造用丸鋼		3	27	1		31	6
-13	-15	-6	-3	-3	-6	0	0	0	11	21	6	6	平角鋼		3	29	1		33	6
0	-3	20	12	21	3	-3	6	23	33	48	41	43	H形鋼		12	22			34	35
-21	-20	-13	0	12	19	14	24	83	125	140	142	150	コラム	15	9	4			28	139
-9	-15	-9	-6	-8	-5	-3	6	-6	3	8	9	3	小形山形鋼		2	34			36	6
-12	-14	-9	-6	-11	-11	-6	-3	-9	3	9	9	8	中形山形鋼		1	34			35	3
-13	-17	-13	-3	-11	-11	-6	3	-16	6	8	9	11	溝形鋼		3	31	1		35	6
-23	-16	-11	7	-7	-6	0	17	39	50	73	68	65	軽量形鋼C形	2	9	20		1	32	34
-26	-22	-11	5	-5	-5	0	14	17	39	63	33	39	軽量形鋼広巾	1	4	17			22	27
-3	10	35	108	127	132	148	158	162	166	158	123	110	冷延薄板	4	15	10			29	79
0	31	58	105	106	105	100	123	133	133	118	103	83	熱延薄板		19	14	1		34	53
13	23	34	114	145	139	134	161	163	162	145	133	127	表面処理鋼板	7	20	8			35	97
18	34	75	127	144	143	150	161	168	169	164	126	109	酸洗鋼板	4	21	9	1		35	80
15	18	49	89	93	84	95	104	116	113	114	100	76	中板	1	17	26			44	43
-8	-8	15	33	43	34	36	56	76	102	95	90	83	厚板	5	21	18	1		45	67
-11	-18	-9	0	10	22	24	39	67	70	86	68	68	極厚板	2	8	10	1		21	52
-10	0	0	6	19	26	13	45	43	64	41	52	41	縞板	2	6	22			30	33
-20	-15	-9	8	6	6	15	29	47	57	73	83	71	中径角	4	15	17			36	64
-23	-11	-3	-3	-6	0	12	19	32	42	58	58	32	ガス管黒	1	10	21			32	38
-18	-16	-6	-5	0	3	6	20	29	49	61	61	39	構造用鋼管	2	9	23			34	38
-8	-3	9	31	35	34	37	49	57	70	72	64	55	計	50	208	426	10	1	695	43

## 6. 秋需感じられず価格転嫁は道半ば

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	北海道の丸棒需要は季節要因が大きい。メーカー出荷、自社出荷も落ちてきている。一方、販価は強含み。閑散期、価格動向が懸念される。
	B	10月も中小物件が少なく、荷動きが冴えない結果となった。今月も値上げ継続を実行する予定。
	C	札幌の大型案件はあるが、地方の仕事は少ない。春先から仕事が薄いので、これから信用不安が出てくるだろう。
	D	秋需という程の荷動きもなく、一足早い冬じまいとなっている。
東北	A	特に大きな変化なし。来年の見積りは増えているが、鋼材の値上げにより着工の延期が増えている。また、供給側の問題もあり、悩ましい状況。
	B	客先、品種によって斑模様。この先仕事も有るような、無いような。国土強靱化もいまいち。
	C	足元、出荷となる物件の数が少なく、数量が伸びていないが、スプレッド拡大により黒字。しかし、数量が伸びないので喜べない。
新潟	A	海外からの部品が入らず、建機などでも生産に一部支障が出てきた。全般にタイト感は継続しているものの販売量は増えず、秋需という言葉が懐かしい。

新潟	B	値上げが続いている中、仕入額が上がってきており利益確保が難しくなっている。冬になると仕事も落ち込むことから先行きが不安になってきている。
	C	引合い、見積り減少の中、価格転嫁のアナウンスを続けていく。
	D	冬に向い益々中小建築物の減少が続いている。メーカーからの入荷は多少納期がかかっているが、それなりに入荷している。
	E	SC材は自動車部品以外、好調を維持。来月には新値玉が入荷するため、今年3度目の値上げは待たなし。
	F	材料不足が深刻。特に厚板、プレスコラム、外法H形鋼が入手困難。仕事は徐々に出てきているが、このような環境の中、どう継続していくのか疑問。
	G	製造業は半導体と東南アジアのロックダウンの影響等により、予定通り生産できない業種が散見されはじめてきており、今後の懸念材料となっている。建築は停滞していた地場案件に少し動きが見られるが、地元の物件を中心に手掛ける中小ファブの稼働はまだ不足気味で、大手ファブの下請けに周るところも見られる。
	神奈川	A
B		工作機械の引合いを来年3月まで頂いているので、すべて決まれば年度末まで安定した状況となる。また、公共建設、民間建設は安定して受注している。
C		トラック、ダンプの特装関連部品、シャーシ供給の影響にて15～20%減。年明け、取り戻し生産とのことだが不透明である。その他の分野は濃淡あるも徐々に回復傾向。顧客への価格転嫁は継続中。同時に与信見通しも注視が必要である。
東京	A	先の物件の価格の見積りが多い。参考価格を知りたいとのこと。需要家も材料難の状況をやっと認識したところもあり、焦って大量の板の確保をお願いされることが稀にある。
	B	鉄筋在庫の仲間売りの荷動きは8月悪く、9月良くなり、10月は普通。パイは変わってない感じである。価格はメーカーが強く、11月中旬より更なる値上げを唱えていく。
	C	店売りは非常にタイトで納期が非常に遅れており、歯抜けも多くなっている。需要家ではメインの建機メーカーも引き続き好調を維持している。
	D	中小建築需要は低調なままだが、夏場頃までは材料の逼迫状況が厳しく、仮需的な動きがあった。しかし、最近では自動車生産減が影響し、メーカー契約残が順調に生産されるようになってひっ迫感が薄れてきている。材料の引合い、見積り依頼も目に見えて減ってきており、販売量も同時に減ってきている。
	E	全品種とも、荷動きが悪い。町場の需要家に仕事は少なく材料費高騰で工賃は圧縮。一部ひも付きで玉流失と思われる安値が出回っている。
	F	前月比1割強の増収増益で取扱量も増となった。設備投資や住宅需要も旺盛になりつつあり、コロナによる経済の閉鎖感が薄れたかに感じる。年末年始の感染状況、経済動向に置いていかれた販売先の与信管理、コロナボケによる社内の怠惰感に注視していきたい。
	G	製品需要は多少増加しており、コロナ禍以前に戻りつつある。市場の材料が不足気味な上、値上げによる状況が販売にも多少影響を及ぼしている。
	H	各メーカーから値上げ実施後の材料が少しずつではあるが、入荷してきている。客先への価格転嫁が急務となっている。
静岡	A	一般形鋼の荷動きが悪く、価格転嫁が進んでいない。特にC形鋼、角パイプの値上げが止まらず、各メーカーへ姿勢にも差があるため、市況が不安定である。中板、厚板は引き続きタイトであり、切板も更なる値上げアナウンスがある。
	B	地元大手ファブの受注量は潤沢に推移しているが、人手不足による超勤状態が続く、労働環境改善の必要性も同時に発生している状況。工場移転に対応するところもある。世界的半導体不足(主要因はコロナ禍)により自動車業界の減産を危惧したが、某自動車メーカーの今半期最高益は経営人の説明通りなのか。鉄鋼メーカーは、高炉、電炉ともに諸コスト増に伴う値上げ実施するとしているが、コロナ禍云々で巷はどんな年末年始となるやら。不良債権ゼロ。その反動は少ないと言っているが注意が必要。

石川		工作機械関係は今のところ斑模様だが、着実に回復している。特に小型工作機械が順調。公共土木関連のコンクリート二次、三次製品は伸びていない。橋梁も今ひとつ量的に弱い。建築民間工事は業績の好調な企業で具体的計画を口に出している。半導体関係はまだまだ好調気配が続く。
富山	A	価格の高所恐怖症にも慣れてきたが、慣れた頃が危ないのは世の常？在庫評価益に支えられた損益書を見ても喜びは半分。地区の同業が何故か安値で売込みをしている。普通に商売したら、十分な利益があるのに無駄な事をするものだ。以前より、価格のよく分からない株や商品には手を出さなかった。もう鉄鋼製品も手が出せない。
	B	短期小口物件向けでは、コラム、ボルトの入手難で延期物件が増加中。新規見積りも増加しているが、価格確認のための相見積りケースもある。値上げに抵抗して、増産要請するユーザーが資源不足の状況を知らないのは地方の田舎者だからなのか。
岐阜		理由は様々だが、鋼板の需給が一時的に緩んだ感じがする。その途端ユーザー向けの単価が下がった。値段90%、納期9%、品質1%位の重要性なのだろうか。面白いがちょっと困る。
大阪	A	販売価格はメーカー値上げに相応して上げていかなければならないが、実態は相場がそこまで追い付いていないので難しいところがある。仕事量は多くないが、少なくともないといったところ。
	B	弊社の主力取扱品種は淡々と需要動向もバランスが取れて、販売量は毎月いい感じである。
兵庫		仕事が旺盛なのは建機のみ。他は全く盛り上がりず。
岡山		8月、9月、10月と微増だが、出荷量が増えてきた。自動車生産の調整、減産の影響か表面処理やSPCCの入手がしやすくなったが、よく考えると入手しにくい位が丁度良い。弊社のような鋼材しか扱わないところにも上場クラスの会社からハイテンションボルトを探してほしいと電話があったが見つけれなかった。
北九州		季節は秋。秋需はもはや死語なのは分かっているが、痛感するほど荷動きは悪い。メーカーの鼻息はまだまだ荒く先が見えない。販価を上げていきたい。
福岡		市中末端の荷動きは精彩を欠いているが、厚板はメーカーの供給量が限られ材料の確保が難しく、価格においても大幅な値上げにより仕入値は上昇しているため更なる販価ステージ上昇が見込まれる。